(別記94)　法第18条第１項許可申請に係る農業委員会意見書

様式例第９号の４

農地法第18条第１項許可申請に係る農業委員会意見書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

〇〇〇農業委員会（知事受付　　年　　月　　日　　号）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 土地区分 | 農　　地 | | 採草放牧地 | |  | 申請提出期限当否判定 | 申請受付 | | | 年 月 日 | | | |  | 市町村農業委員会の意見 | 決定・　　 年 月 日 | | | |
| 目的区分 | 耕作目的 | | 転用目的 | | 相手方通知予定 | | | 年 月 日 | | | | 却　 下 | | | 不 許 可 |
| 許  可 | 第２項第１号該当 | | |
| 申請区分 | 合 意 | 賃貸人 | | 賃借人 | 契約期間満了 | | | 年 月 日 | | | | 第２号該当 | 第4条第5条意見提出  　　　　　年　　月　　日  意見書第　　　　　号 | |
| 解　　除 |  |  | |  | 土地引渡希望 | | | 年 月 日 | | | |
| 解　　約 |  |  | |  |
| 更新拒絶 |  |  | |  | 期間の定めのあるもの | | 同左一時賃貸 | | | 期間の定めのないもの | |
| 条件を変更しなければ更新拒絶 |  |  | |  | 第３号　該当 | | |
| 第４号　該当 | | |
| 当 | 否 | 当 | | 否 | 当 | 否 | 第５号　該当 | | |
| 第６号　該当 | | |
| 無条件許可 | | | 条件付許可 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第18条  第２項該当審査事項 |  | | 申請書の申述する事実 | 相手方の見解 | 農業委員会の事実認定と意見 |
| 第１号 | |  |  |  |
| 第　　　　　２　　　　　号 | |  |  |  |
| 第  ３  号 | 賃借人の相当の生活の維持が困難とならないか |  |  |  |
| 賃貸人は第３者に賃貸又は売却するおそれはないか |  |  |  |
| 賃貸人は耕作して土地の生産力を十分発揮しうるだけの能力と技術が十分にあるか |  |  |  |
| 賃貸人は耕作して土地の生産力を十分発揮しうるだけの施設を有するか |  |  |  |
| 第　　　　　４　　　　　号 | |  |  |  |
| 第  ５  号 | 農地所有適格法人の要件を欠いていないか |  |  |  |
| 賃貸人は第３者に賃貸又は売却するおそれはないか |  |  |  |
| 賃貸人は主として自家労働力により土地の生産力を十分発揮しうるだけの技術があるか |  |  |  |
| 賃貸人は主として自家労働力により土地の生産力を十分発揮しうるだけの施設を有するか |  |  |  |
| 第　　　　　６　　　　　号 | |  |  |  |
| （備　考） | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 意見決定の理由、  許可の場合の条件 |  | 意見決定上問題となった事項 |  | 知事の決定  年　 月　 日  （指令第　　号） | | | |
|  |  | 許　　可 | 無条件 | 却　下 | 不許可 |
| 一部許可 | 条件付 |
| 指令接受  年　 月　 日 | | | |
| 本人通知  年　 月　 日 | | | |

|  |
| --- |
| 農業委員会ネットワーク機構（都道府県機構）の見解 |
|  |

（記載要領）

１　「土地区分」「目的区分」「申請提出期限」「農業委員会の意見」欄については該当

するものに○を付し、申請区分については該当欄に○を付す。

２　「第18条第２項の該当審査事項」の「備考」欄には、申請当事者の一方が農地所有

適格法人である場合には、当該農地所有適格法人が農地所有適格法人でなくなった年月日又は賃貸人が農地所有適格法人の構成員でなくなった年月日若しくはその常時従事者でなくなった年月日を、信託事業に係る信託財産について行われる場合には信託による貸付終了年月日を、またその賃貸借がその信託財産に係る信託の引受け前から既に存在していた場合には、その賃貸借の開始年月日、当該農地について信託契約を行った年月日及び信託契約終了年月日を記載する。